

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート(平成30年度分)

事務事業名	長後地区整備事業費										担当課	部課名	都市整備部都市整備課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	01	細目	008	説明	02	課等の長	八文字 弘行	電話	6571

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	長後地区の暮らしやすいまちづくりを進めるために、長後駅と長後市民センターを結ぶ長後725号線の安全・安心な交通環境の確保に向け、歩道整備事業を進めるとともに、交通の円滑化に寄与する都市計画道路高倉下長後線の整備に向けた進捗を図る。						
事業目的および必要性	長後地区のまちづくりの課題である駅周辺の交通混雑の緩和や防災に強いまちづくりの実現のために、必要な都市計画道路の整備や道路利用者の安全性を確保する歩道整備事業を実施する。						
対象	1. 個人	市民(長後地区)				33,262 人	
根拠法令等	法律等	都市計画法, 道路法					
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (株)日新測量設計 他) (委託等内容 : 長後725号線用地測量委託 他) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						
藤沢市市政運営の総合指針2020				その他の計画との関連			
重点施策名		指針体系コード					
都市基盤の充実と長寿命化対策の推進		5-1-131		本事業は「藤沢市都市マスタープラン」, 「藤沢市交通マスタープラン」, 「藤沢市道路整備プログラム」などに位置付けられている。			
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
道路や住宅の整備について		2.67 点	2.71 点	2.76 点	2.80 点		
		点	点	点	点		

平成30年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	旅費	30 千円	関係機関協議のための出張旅費
	需用費	174 千円	消耗品費, 印刷製本費
	委託料	22,940 千円	長後725号線用地測量委託 他
23,144 千円			
【参考】 令和元年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	役務費	2,387 千円	不動産鑑定手数料, 分筆登記作業 他
	委託料	17,613 千円	高倉下長後線予備修正設計委託 他
	公有財産購入費	17,639 千円	長後725号線歩道整備事業用地取得
	補償補填及び賠償金	73,566 千円	長後725号線歩道整備事業移転補償費
112,718 千円	その他	1,513 千円	旅費, 需用費

2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
正規職員等	2.50	2.50	3.50	3.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00	0.00	0.00	0.00
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	2.50	2.50	3.50	3.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

3. 事業実施内容・成果

平成30年度 事業実施 内容	長後市民センターの東側交差点改良事業完了に伴い、確定測量を実施し、道路管理者へ引き継ぎを行った。 長後725号線歩道整備事業の進捗を図るため、用地測量及び支障物件調査を実施した。 高倉下長後線の整備に向け、地質調査、雨水流出抑制施設検討及び軟弱地盤解析を実施した。 高倉下長後線の都市計画変更に向けた河川事前協議等を実施するとともに、長後地区全体集会、郷土づくり推進会議等に事業進捗を説明し、意見交換を行った。						
成果目標	指標名	単位	平成27年度 目標値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	備考
	高倉下長後線整備事業進捗率（整備延長/計画延長）	%	-	-	-	-	
	長後725号線歩道整備事業進捗率（整備延長/計画延長）	%	-	-	15	15	
参考又は上記指標名の設定ができない理由							
活動実績	指標名	単位	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	備考
	長後西口地区まちづくり検討委員会	回	1	2	1	1	
	長後地区郷土づくり推進会議	回	3	2	2	2	
	沿道地権者等事業説明会・意見交換会	回	1	3	1	1	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	高倉下長後線整備事業進捗率（整備延長/計画延長）	%	-	-	-	-	
	長後725号線歩道整備事業進捗率（整備延長/計画延長）	%	-	-	15	15	
数値で表せない効果							
・説明会や個別交渉など地元調整を行い、地権者等の事業に対する理解を深めた。							

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
コスト	行政費用(フルコスト) A	34,835	31,559	99,592	56,494				
	(1)現金を伴う支出 (千円)	38,049	31,640	97,100	56,871				
	事業費(支出済額-②報酬合計)	14,181	7,526	63,266	23,144				
	償還金利息	0	0	0	0				
	人件費合計(①+②+③)	23,868	24,114	33,834	33,727				
	職員数(常勤 非常勤)	2.50 0.00	2.50 0.00	3.50 0.00	3.50 0.00				
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167				
	①職員給与合計(常勤)	22,600	22,753	32,267	32,085				
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0				
	③退職金相当額	1,268	1,361	1,567	1,642				
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-3,214	-81	2,492	-377				
	①減価償却費	0	0	0	0				
	②退職給与引当金繰入額	-3,214	-81	2,492	-377				
	③不納欠損額	0	0	0	0				
	④その他()	0	0	0	0				
	行政収益(事業収入) B	0	0	4,985	0				
(3)現金を伴う収入 (千円)	0	0	4,985	0					
①分担金及び負担金 C	0	0	0	0					
②使用料及び手数料 D	0	0	0	0					
③国庫支出金	0	0	1,485	0					
④県支出金	0	0	0	0					
⑤その他(道路整備事業債)	0	0	3,500	0					
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0					
収入未済増減額	0	0	0	0					
収支差額(純費用)A-B E	34,835	31,559	94,607	56,494					
分析指標	項目	長後725号線進捗率 F	単位 %	単位 %	単位 %	単位 %			
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	-	-	6,639,466.67	3,766,266.67				
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	82.82	420,619	74.24	425,105	221.30	427,501	131.59	429,317
	受益者負担率 (C+D)/A (%)	0.00	0.00	0.00	0.00				

※1 職員数…〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費…〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額…年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成29年度末時点の課題	高倉下長後線の関係部局との協議については、河川部局との協議に想定以上の時間を要し、農政部局との協議に至っていないことから、予定スケジュールの遅延の可能性があることが課題である。 長後725号線については、次期整備区間の地権者等との合意を形成することが課題である。
(2) (1)解決のための平成30年度の取組	時間を要していた都市計画道路高倉下長後線の河川部局との協議については、働きかけの結果、協議を終えることができ、農政部局との協議を進めた。 長後725号線歩道整備に関係する地権者等との合意形成に向けた交渉を進めることができた。
(3) 平成30年度末時点の課題	高倉下長後線の河川部局との協議に想定以上の時間を要したことにより、予定スケジュールの見直しが必要となった。 長後725号線歩道整備事業に関係する地権者等から事業協力が得られるように合意形成を進めていくことが課題である。
(4) (3)解決のための今後の取組	高倉下長後線の関係機関協議を進めるとともに、都市計画変更に向けた手続きを並行して進めることが必要である。 長後725号線歩道整備については、用地取得に向けて地権者等との交渉を丁寧に進める。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…平成30年度支出済額	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上
		(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
		4. 施設等整備	歩行者等の道路利用者の安全性向上 都市基盤の整備

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	本市を取り巻く社会経済状況を見ると、財政状況の先行きが見通せない。 都市基盤整備に対する国等の補助金の先行きが見通せない。 超高齢社会の進展などにより多様化する交通ニーズへの対応、環境にやさしい交通環境づくり等の道路計画が求められている。	
	都市計画道路の計画・整備及び既存道路への歩道整備については、本市と同様の手法で進められている。	
市民ニーズ	把握方法	「長後西口地区まちづくり検討委員会」（市民公募19名 1回/年程度） 「長後地区郷土づくり推進会議」（自治会、公募 2回/年程度） 「長後地区全体集会」（1回/年） 地権者等に対し、自治会単位等での説明会、意見交換会（適宜） 個別の事業説明（適宜）
	把握内容	長後地区のまちづくりの将来像、目標、地域の魅力、長後らしさ等 地権者からは、道路計画へのご意見や用地買収に関する不安等
	対応等	時代の変化に伴う市民ニーズに合わせた長後地区整備事業の進捗を図る。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	高倉下長後線については、都市計画変更に向けた河川部局との協議を完了させ、農政部局との協議に進めることができた。また、整備に向けた地質調査や地盤解析などを進め、事業の進捗を図った。 長後725号線については、歩道整備への進捗を図るために、用地測量及び支障物件調査を実施するとともに用地取得に向け地権者との交渉を進めた。 平成29年度に工事が完了した交差点部分について、道路管理者への引継ぎを行った。	
	今後の方針	まちづくりテーマ ⑤ 都市の機能と活力を高める 事業の方向性 現状維持 都市計画道路高倉下長後線は、長後駅周辺の交通渋滞緩和のために重要な路線であることから、引き続き、都市計画変更に向けた関係機関協議等を進め、事業の進捗を図っていく。 長後725号線歩道整備事業については、引き続き、歩行者等道路利用者の安全性向上のため、事業の進捗を図っていく。

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
7	長後西口まちづくり検討委員会に関すること	無	無	2	
8	事業用地取得に関すること	有	無	3	
9	高倉下長後線に関すること	無	無	1	3
10	長後西口地区の整備に関すること	無	無	1	3
11	長後725号線歩道整備事業に関すること	無	無	2	3
12	長後地区整備計画の事業認可申請	無	無		
13	工事の設計及び施工	無	無	1	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。
※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	藤村 勝己	確認日	2019/8/27
----	-------	----	-------	-----	-----------